

飯能市地域公共交通網形成計画
実績状況（平成30年度）

令和元年5月

飯能市交通政策室

飯能市地域公共交通網形成計画の取組一覧

基本目標	施策	施策名	実績			今後の方向性				
			未実施	研究・検討	実施	継続実施	継続検討	見直し	廃止	
基本目標1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」	施策1：バス路線の維持と継続的な見直し	① 交通事業者との連携強化			○	●				
		② 補助金の継続			○	●				
		③ 利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し			○	●				
	施策2：観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施	① 観光施策と連携した利用促進			○	●				
		② 市内コンテンツを活用した利用促進			○	●				
		③ おでかけ促進と連携した利用促進			○	●				
	施策3：バス運行環境の整備	① バス停の待合環境の改善		○			●			
		② 施設を活用した待合環境の整備		○			●			
		③ 飯能駅北口ロータリー周辺の使い方			○	●				
		④ 市内道路網の課題解決に向けた取組の実施			○	●				
	施策4：需要に対応したバス路線の見直し	① 施設立地等に対応したバス路線の見直し			○	●				
	基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」	施策1：バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進	① わかりやすいバス案内看板の設置			○	●			
② バスマップの作成・配布					○	●				
施策2：市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施		① まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント			○	●				
		② 通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント			○	●				
施策3：マイバス意識の醸成		① バスを使ってもらおう取組			○	●				
		② バスのことを理解してもらおう取組			○	●				
		③ 地域におけるマイバス意識の醸成			○	●				
施策4：公共交通利用のための利便性の向上		① 乗換利便性の向上		○			●			
		② 高等学校等バス通学費補助			○	●				
		③ 利便性向上のための設備投資			○	●				
基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」		施策1：「おでかけ」を守るための検討	① 飯能市地域公共交通対策協議会の運営			○	●			
			② 地域での交通手段を導入するための仕組みづくり			○	●			
	③ 地域による主体的な運営組織づくり				○	●				
	施策2：社会資源の活用の検討	① スクールバスの混乗			○	●				
		② 送迎バスの活用検討		○			●			





基本目標 1 地域の幹線交通としての路線バスを「まもる」

施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し				
施策名	①	交通事業者との連携強化				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市、交通事業者	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
<p>○バス事業者3社とは地域公共交通対策協議会の分科会等を通して情報共有、意見交換を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回地域公共交通対策協議会分科会 7月9日開催 ・第6回地域公共交通対策協議会分科会 9月5日開催 <p>その他、分科会の場に限らず、国際興業をはじめ西武バス、イーグルバスの各担当者とも情報共有を行っている。</p> <p>○鉄道事業者、タクシー事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR東日本、西武鉄道については、市からの要望活動及びバリアフリー事業による打ち合わせの場等を活用して情報共有、意見交換を行っている。 ・市内タクシー事業者に対しては、メッツァ開業に伴って観光客による利用増加が見込まれることから、観光担当課から観光政策の説明会を開催すること等により、市との連携強化を図っている。 						
今後の課題					実績	
<p>○路線の維持、確保のため補助金を交付している国際興業とは、今後も連絡を密にし、各路線の利用状況等について情報共有をしていく。また、市の事業等に対する同社の協力、後援等により連携を強化することで利用者の維持、増加を図っていく必要がある。</p> <p>○メッツァの開業により、飯能駅及び東飯能駅の利用者の増加とそれに伴う駅構内の混雑が予想される。本市への来訪者を駅改札口からバス停まで案内環境の整備が必要となる中で、鉄道事業者ともより一層連携を強化し、整備を進めていく必要がある。また、タクシー事業者に対しては、引き続き観光担当課を中心に情報共有を行い、来訪者に対する観光案内等の強化を図っていく。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し				
施策名	②	補助金の継続				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市	◎実施	○継続実施 (協定見直し)				
H30実施実績						
<p>地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、赤字路線(4路線)に対して補助金を交付した。補助金交付により、山間地域の住民の通勤、通学をはじめ、高齢者等の車を運転しない住民の通院、買い物等の際の移動の足を確保することができた。当該路線は、地域住民の生活の足としてだけでなく、ハイカー等の観光客の足としてもなくてはならないものである。</p> <p>○補助対象路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯の沢線 ・名栗車庫線 ・間野黒指線 ・中藤・中沢線 						
今後の課題					実績	
<p>路線バスが基幹交通となっている地域の路線バスについては、住民の移動手段としてだけでなく、市街地から山間部の観光拠点等をつなぐ移動手段としての役割を果たしており、今後も補助金を継続し、維持、確保していく必要がある。</p> <p>しかし、補助金を交付してもなお維持が難しい路線については、利用者数の推移、沿線地域の状況等を十分に把握した上で、大幅な減便や廃線になった場合の代替案の検討も並行して進めなければならない。特に利用者数の推移の把握は必須であり、事業者との情報共有や意見交換を継続して行うことが重要となる。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	1	バス路線の維持と継続的な見直し				
施策名	③	利用実績のモニタリングによるバス路線の見直し				
実施主体	実施期間（H30～R04）					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市、交通事業者	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
<p>○補助金を交付しているバス路線の乗込調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査日 3月6日 ・対象 間野黒指線、中藤・中沢線（国際興業バス） 						
今後の課題					実績	
<p>現在の協定により、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの3か年の飯能営業所の存続と営業所管内の運行は確保することができている。一方で協定中の項目では「廃止、減回もあり得る」としているため、利用状況によっては協定期間中に更なる輸送力調整が行われる可能性がある。</p> <p>路線の中でも特に「間野黒指線」、「中藤・中沢線」、「小沢から湯の沢までの区間（名栗本線）」の利用状況が悪いため、引き続き利用状況を調査しながら、地域で必要とされるかたちでの移手段について地域住民と検討を進めていく必要がある。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施				
施策名	①	観光施策と連携した利用促進				
実施主体	実施期間（H30～R04）					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市、地域、交通事業者	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
エコツアー等の観光施策と連携したバス・鉄道の利用促進を以下のとおり実施した。						
<p>お散歩マーケット（南高麗地区）</p> <p>○お散歩マーケット（春）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 5月6日 ・参加者 1,190人 ・臨時便 往路22便、復路25便 <p>○お散歩マーケット（秋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 11月8日 ・参加者 886人 ・臨時便 往路16便、復路17便 			<p>わくわく名栗クラブ事業（名栗地区）</p> <p>○「名栗でわくわく！親子で川遊び体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 7月1日 ・参加者 215人（豊島区、狭山市、入間市等から参加） ・内容 マスのつかみどり、チューブで川下り等 <p>○「わくわくNAGURI通信（第7号）」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布 国際興業バス車内に吊り下げほか ・内容 バス停付近の名所の紹介 			
<p>原市場地区公共交通を守る会事業（原市場地区）</p> <p>○「星空ヨガと古民家フレンチの旅」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 10月19日 ・参加者 16人 ・会場 星宮神社（赤沢） <p>○「春の星カツ旅！写経・マクロビ・星空観測」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 3月9日 ・参加者 19人 ・会場 金錫寺（赤沢） 			<p>その他イベント、取組</p> <p>○路線バス途中下車の旅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスで移動し、第二区地区の隠れた名所を紹介 ○名郷味市 ・名栗地区の名郷で開催、屋外イベントを実施 ○なぐり見聞食ブラさんぽ ・名栗地区内の名所を巡るスタンプラリー ○国際興業バス車内液晶画面の活用（3月16日開始） ・車内において市内観光名所のPR動画の放映を開始 			
今後の課題					実績	
<p>○各地区において、地域住民が主体となって利用促進事業を実施している。お散歩マーケット、川遊び体験は毎年継続して開催されており、事業の認知度もさることながら参加者の満足度も高く、市内外から多くの参加者が集まっている。今後も担い手である地域住民の負担を考慮しながら、市から必要な支援を継続し、地域主体による利用促進の継続を図っていく。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施			
施策名	②	市内コンテンツを活用した利用促進			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
交通事業者、 地域、市	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>国際興業バスの運行する「ヤマノススメ」のラッピングバスを各種イベントで活用し、路線バスのPRに効果を発揮している。</p> <p>○ヤマノススメラッピングバス1号車ラストランイベント ・9月24日をもって1号車が引退となり、現在は2号車、3号車の2台が運行している。</p>					
					   
今後の課題					実績
<p>○「ヤマノススメ」には根強いファンがいるものの、ラッピングの老朽化が課題となっている。更なる利用促進につなげるため、ファンをターゲットにしたイベント等の企画について研究していく。</p> <p>○市内にはムーミンのテーマパーク「メツァ」がすでに開業し、新たに国際興業バス沿線にピククルス社によるテーマパークが開業予定である。幅広く利用者を獲得するためにも、民間の集客施設と連携し新たなラッピングバスの運行等について検討していく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	観光やイベント等による公共交通利用促進策の実施			
施策名	③	おでかけ促進と連携した利用促進			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
地域、市、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>市内の一部公共施設では、施設の最寄りのバス停の時刻表を施設内に掲示すること、冊子に案内を掲載すること等により、施設利用者に対して路線バスの利用を案内している。また、イベント等の周知記事にイベント等の開始時間に間に合う路線バスの案内を掲載することにより、地域を運行する路線バスの利用促進を行っている。</p>					
今後の課題					実績
<p>今後も公共交通を利用できる位置にある公共施設、商業施設等の協力により、地域の行事や地域内の買い物に路線バス等の公共交通を利用してもらえるように取組を継続し、また研究を進めていく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	3	バス運行環境の整備			
施策名	①	バス停待合環境の改善			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
地域、市、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04
	○研究・検討	○継続検討			
H30実施実績					
<p>既存のベンチについては引き続き運用しているが、新たな環境整備については候補地の検討にとどまっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">△イーグルバス「靖和病院」バス停ベンチ △飯能駅北口ロータリー内ベンチ</p>					
今後の課題					実績
<p>今後も利用者の比較的多い主要なバス停において、快適に利用できるよう新たな環境整備について検討をしていく。</p>					検討
					今後の方向性
					継続検討



施策	3	バス運行環境の整備			
施策名	②	施設を活用した待合環境の整備			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
市、地域、 交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04
	○検討	○継続検討			
H30実施実績					
<p>乗降者数の多いバス停、交通結節点となりうるバス停等から対象箇所の検討を行っている。</p>					
今後の課題					実績
<p>今後も、市内の路線バスの利用状況を鑑みながら、網形成計画に基づき、「軸となる路線」と「支線となる路線」の結節点を見極めて対象箇所の選定を行っていく。</p>					検討
					今後の方向性
					継続検討

施策	3	バス運行環境の整備			
施策名	③	飯能駅北口ロータリー周辺の使い方の改善			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
交通事業者、市	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
11月9日メッツァビレッジ、3月16日ムーミンハレーパークの開業に伴い、バス利用者の待合環境の整備を実施した。					
					
△待合動線の整備		△新停留所の設置			
今後の課題					実績
○飯能駅北口については、パーク来場者の状況によってバス待ちの待機列が駅構内南口階段付近まで延びることがあるが、交通事業者が対応する等の協力により、大きな混乱はなく運営されている。					実施
○バス利用者の待合動線が整備されたことにより、イーグルバスの既存の生活路線とメッツァ直通シャトルバス利用者との整理がされ、利用者の混乱は避けられている状態である。今後もパーク来場者の推移を見守りながら、利用者（及び通行者）が快適にバス及び駅構内を利用できるよう対応していく必要がある。					今後の方向性
					継続実施



施策	3	バス運行環境の整備			
施策名	④	市内道路網の課題解決に向けた取組の実施			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
○飯能大河原線の開通 3月4日に開通式を行った。飯能大河原工業団地への産業道路として活用されており、国際興業バス西武飯能日高線及び間野黒指線の経路変更につながった。					
今後の課題					実績
阿須小久保線と市道1-5号線との交差点に右折帯を設ける予定であり、それにより周辺の交通環境の改善につながる。					実施
					今後の方向性
					継続実施


施策	4	需要に対応したバス路線の見直し				
施策名	①	施設立地等に対応したバス路線の見直し				
実施主体	実施期間（H30～R04）					
	H30	R01	R02	R03	R04	
交通事業者、市	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
<p>○国際興業バス間野黒指線（飯11系統）工業団地乗入れ 平成30年5月16日運行開始 飯能大河原工業団地内に国際興業バス間野黒指線の路線を延長し、同工業団地の通勤者の利便性向上につなげた。</p> <p>○メッツァ行直通シャトルバスの運行開始（3社共同運行）平成30年11月8日運行開始 宮沢湖畔にムーミンのテーマパーク「メッツァ」が開業したことに伴い、イーグルバス、西武バス、国際興業バスの3社により飯能駅北口及び東飯能駅東口から直通シャトルバスの運行を開始した。また、3月16日の同パークのグランドオープンに合わせ輸送力を増強し、東飯能駅からの平日便の運行を開始した。</p> <p>○国際興業バス西武飯能日高線（飯07系統）等の路線変更 平成31年3月16日運行開始 市道飯能大河原線の開通に伴い、国際興業バス西武飯能日高線及び間野黒指線の路線変更を実施した。また、併せて「飯能西中学校」、「飯能第一小学校」及び「天覧山下」バス停を新設し、並びに旧「天覧山下」バス停を「市民会館・博物館」に名称変更することで周辺公共施設等のアクセス利便性が向上した。</p>						
今後の課題					実績	
<p>○間野黒指線については、同工業団地に乗入れたものの、想定していたよりも利用者数は伸びておらず、いま一度、工業団地会等を通して周知を行う必要がある。</p> <p>○メッツァ行直通シャトルバスは、利用者の待機列整理、道路渋滞による運行遅延などの問題があるものの、運行事業者3社の協力のもと円滑な運行が続けられている。今後も利用者数の推移を見守る必要がある。</p> <p>○西武飯能日高線については、天覧山への観光、中央公園でのイベント開催時等に多く利用されている。当該路線沿線にピククルス社のテーマパークが開業する予定であり、今後より一層の需要が見込まれる。また、交通渋滞も懸念されることから「天覧山下」バス停にバスベイを整備し、周辺の交通環境の改善を図る必要がある。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

基本目標2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」

施策	1	バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進			
施策名	①	わかりやすいバス案内看板の設置			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、交通事業者	○実施	◎継続実施			
H30実施実績					
<p>○飯能駅北口ロータリーに市内バス路線の簡易な案内板（カラー印刷、パウチ加工）を作製し、設置している。各社の路線変更、メツァ行直通シャトルバスを反映したほか、路線沿線の観光スポットの紹介を追記した。</p> <p>○3月ムーミンバレーパーク開業及び飯能駅改装に合わせ、飯能駅改札口前の自由通路にデジタルサイネージ（表示灯社）が設置された。</p>					
					
				△飯能駅北口バス案内看板	△改札前デジタルサイネージ
今後の課題					実績
<p>○現在設置しているバス案内看板の位置に、新しくバス案内看板を設ける予定である。</p> <p>○東飯能駅にはバスの案内等が不十分であるため、バス案内看板等の設置も視野にを検討を行う。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	1	バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進			
施策名	②	バスマップの作成・配布			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市	◎実施 (改訂・増刷)	○継続実施 (増刷)	(改訂・増刷)	(増刷)	(改訂・増刷)
H30実施実績					
<p>○メツァ行直通シャトルバス、バス路線変更等を反映するため「飯能市バスルートマップ」（平成27年4月作成、平成29年一部改訂）を改訂し、20,000部増版した。情報面では、観光情報を掲載するほか3月のムーミンバレーパークの開業に合わせ新たにメツァの紹介面を設けた。</p> <p>○市内の公共施設等で市民に広く配布した。</p>					
					
				△メツァ紹介面	△地図図面
今後の課題					実績
<p>引き続き、公共交通を使ってもらいやすくなるよう、市内の公共施設、商業施設等を通して市民及び観光客等の来訪者に配布していく。また、警察署と連携し、運転免許返納者に対して配付できるよう進めていく。内容については、令和2年度を目途に改訂を予定している。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施			
施策名	①	まちなかのおでかけに対するモビリティマネジメント			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
交通事業者、市	○実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>○ほんのう市公共交通ニュースの発行 市内の公共交通の現状、事業等の情報について、「ほんのう市公共交通ニュース」としてまとめ、市民に広く周知した。8月、3月に2回発行し、市内公共施設等に配架したほか、市HPでも公開した。</p>  <p>第37号 第38号</p> <p>○市広報等によるPR 市広報、公共交通ニュース、市HPで交通事業者による既存の各種サービスについてPRし、主に高齢者の公共交通の利用による外出の促進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際興業バス「彩京のびのびバス」 65歳以上対象、同社の路線バス乗り放題（6か月間、税込22,000円） 西武ハイヤー 運転経歴証明書による割引サービス 免許返納者対象、証明書の提示でタクシー代金の10%割引  <p>△「彩京のびのびバス」ポスター</p>					
今後の課題					実績
<p>○交通事業者による各種サービスについて、継続的に周知を行っていく。</p> <p>○国際興業バスのワンコインゾーンについては、今後もサービスが継続できるよう利用周知に努め、市内の通勤者、高等学校の生徒等にも広く使ってもらおうよう働きかけを行っていく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	2	市民・地元企業等を巻き込んだモビリティマネジメントの実施			
施策名	②	通勤・通学者等に対するモビリティマネジメント			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、地域、交通事業者	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>晋段、自家用車で通勤（移動）する市内通勤者及び市民に対して、路線バス、鉄道その他の移動手段での通勤（移動）を意識してもらうことで、公共交通の利用に対する意識啓発を目的に実施した。</p> <p>また、市内の飲食店等に協力を仰ぎ、期間中に限り事業参加者に特典を用意してもらい、参加への動機づけ及び市街地の活性化に繋げることを目的とした。</p> <p>○期 間 12月10日～12月28日（3週間）</p> <p>○協賛店 18店舗</p> <p>○参加者 579人 （内訳）事業所558人（市内13事業所）、個人21人</p> <p>○期間後、参加者に対するアンケート（QRコードを活用したWEB回答）により、結果検証を行った。</p>   <p>△協賛店マップ</p>  <p>△チラシ</p> <p>△参加証</p>					
今後の課題					実績
<p>今後同様の取組を実施していく。市内事業所への協力は、引き続きお願いして実施する。協賛店については、アンケートによると利用が少数であったため、見直しも検討する。実施時期、期間、内容等について、ターゲットを誰にするかを明確にし、決める必要がある。また、交通事業者からの協賛も検討していく。また、あわせて近隣市（ダイアプラン5市等）との合同開催により、多くの関係者を巻き込んだ開催も検討する。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施



施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	①	バスを使ってもらう取組			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、地域、交通事業者	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>路線バスでアクセスすることができる市内の観光スポットを紹介するスタンプラリーを実施することで、市内の魅力の再発見及びさらなる路線バスの利用促進を図った。</p> <p>○事業名 「路線バスで行く！飯能スゴイところスタンプラリー」</p> <p>○実施日 11月11日</p> <p>○会場 市役所駐車場（はんのう生活祭会場）</p> <p>○内容 会場内に模擬バス停とスタンプを設置し、配布したシートにスタンプを5つ全て押した参加者に国際興業バスのオリジナルグッズを進呈した。</p> <p>○参加者 ・シート配布 200枚 ・景品受領 105組</p> <p>事業後、WEB上で参加者へのアンケートを実施し、事業の検証を行った。（52名回答）</p>					
					
△スタンプシート				△模擬バス停（中沢、メツァ）	
今後の課題					実績
<p>事業後のアンケートにより、「イベントをきっかけとして新たなバス利用者を取り込むための取組を実施することで、2割程度の潜在的利用者の確保が期待される」ことが分かった。今後も国、県の補助金等を活用しながら、交通事業者の協力のもと実施し、路線バスの利用者の増加を図っていく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施

施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	②	バスのことを理解してもらう取組			
実施主体	実施期間 (H30~R04)				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、交通事業者、地域	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>バスに乗車する不安を取り除くとともに、公共交通の利用促進を目的として、以下のとおり事業を実施した。</p>					
<p>○地域公共交通講演会「みんなで考えよう おでかけの足」</p> <p>・実施日 6月6日</p> <p>・会場 飯能市役所本庁舎 501会議室</p> <p>・講師 吉田 樹氏（福島大学准教授）</p> <p>・参加者 54人（市民41：職員13）</p>		<p>◎利用促進デーの取組（11月11日実施、国際興業協力）</p> <p>○「ラッピングバスで乗り方教室・運転手体験」</p> <p>・会場 はんのう生活祭会場（飯能市役所駐車場）</p> <p>・内容 親子対象、参加者に国際興業バスグッズを進呈</p> <p>・参加者 乗り方教室：15人 運転手体験：80組</p>			
<p>○出前講座</p> <p>・実施日 7月17日</p> <p>・会場 飯能市総合福祉センター2階 研修室</p> <p>・内容 「安全？危険？私の運転テクニック」 「どうする？どうなる？免許返納」</p> <p>・参加者 25人（持ち寄りサロン）</p>		<p>○「外国人のための乗り方教室」（国際交流協会共催）</p> <p>・会場 国際興業飯能営業所、鳥居観音</p> <p>・内容 乗り方教室を開催後、名栗紅葉まつりに参加 外国語版バスの乗り方リーフレット配付</p> <p>・参加者 19人（国籍：ペルー、中国、ベトナム等）</p>			
<p>○「ノリノリ！のりものフェスティバル」</p> <p>・実施日 11月17日</p> <p>・会場 所沢市航空記念公園</p> <p>・内容 バス、タクシー等車両展示、各種イベント</p> <p>・参加者 約10,000人</p> <p>・主催 ダイアプラン公共交通部会</p>		<p>○「みんなで知ろう！移動手段の最新動向」</p> <p>・実施日 2月16日</p> <p>・会場 東吾野地区行政センター</p> <p>・内容 市の交通政策と東吾野地区の移動手段について</p> <p>・参加者 46人</p> <p>・主催 ふくしの森・東吾野、自治連東吾野支部</p>			
今後の課題					実績
<p>○市民、団体等の要請に応じて、引き続き市民に市の公共交通の現状等について理解を促していく。市主催の講演会、勉強会の開催についても継続的に実施していく。</p>					実施
<p>○市民の路線バス利用が進まない要因の一つとして、「バスの乗り方がよく分からない」という問題が挙げられる。今後も「乗り方教室」をバス事業者の協力のもとで開催し、バス利用を身近なものにしていく。また、市内で増加している外国人在住者に対しても利用促進を続けていく必要がある。</p>					今後の方向性
<p>○公共交通の利用促進を目的とした広域的な啓発事業について、ダイアプラン公共交通部会において検討する。</p>					継続実施

施策	3	マイバス意識の醸成			
施策名	③	地域におけるマイバス意識の醸成			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
地域、市	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>○利用促進ポスティングの実施 地域へ運行する公共交通を利用し、その路線を維持していくことを促すため、赤字路線である国際興業バス名栗本線沿線の全世帯に対して利用促進及び意識啓発を目的としたポスティングを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 第二区地区（永田地区を除く）、原市場地区（中藤地区を除く）、名栗地区 ・世帯数 約4,000世帯 					
今後の課題					実績
<p>「公共交通は地域の資源であり、自ら乗り、育てていく」という意識が依然として高まっていない。今後も、特に赤字路線を抱えている名栗本線沿線の住民に対しての意識啓発を行い、マイバス意識が醸成されるよう事業を進めていく。</p>					実施
					今後の方向性
					継続実施


施策	4	公共交通利用のための利便性の向上			
施策名	①	乗継利便性の向上			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
	H30	R01	R02	R03	R04
市、地域、交通事業者	○研究・検討	○継続検討			
H30実施実績					
<p>○サイクル・アンド・バスライドの視点から、「新寺」バス停付近の駐輪場の管理を継続して行った。</p> <p>○パーク・アンド・ライドについては先進事例の研究にとどまり、実施に向けた検討には至っていない。</p>					
△新寺駐輪場					
今後の課題					実績
<p>○各バス停の状況を把握し、パーク・アンド・ライドの必要箇所の状況やその実施方法等について引き続き研究、検討を進める。</p> <p>○駐輪場の整備を実施した「新寺」バス停以外のバス停についても、サイクル・アンド・バスライドができる環境整備が必要との要望があるため、地域からのニーズ等を踏まえた上で、路線バスの利便性の向上を目指して検討を進める。</p>					研究・検討
					今後の方向性
					継続検討

施策	4	公共交通利用のための利便性の向上			
施策名	②	高等学校等バス通学費補助			
実施主体	実施期間（H30～R04）				
市	H30	R01	R02	R03	R04
	◎実施	○継続実施			
H30実施実績					
<p>山間地域に在住する高校生の高額な通学定期券の購入費用については、高校生が安心して地域で生活しながら高校に通うことができるよう、引き続き補助金を交付する。</p> <p>○目的 通学費に係る経済的な負担の軽減及び路線バスの利用促進を図る。</p> <p>○対象者 高等学校、私立中学校、特別支援学校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校に通学する生徒の保護者であり、生徒の通学費として年間10万円以上の経費を必要とする者</p> <p>○平成30年度補助件数 84件 ※平成29年度補助件数 108件</p>					
今後の課題					実績
補助金交付対象となっている山間地域に住む高校生の数が大幅に減少している。今後の補助金交付予測を立て、補助内容の変更についても検討していく。交付対象の高校生がどのような理由で利用していないのかについても調査していきたい。					実施
					今後の方向性
					継続実施

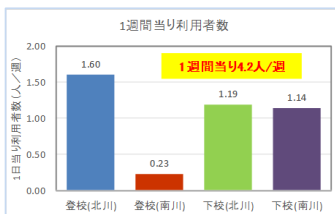

施策	4	公共交通利用のための利便性の向上																																																												
施策名	③	利便性向上のための設備投資																																																												
実施主体	実施期間（H30～R04）																																																													
市、交通事業者	H30	R01	R02	R03	R04																																																									
	◎実施	○継続実施																																																												
H30実施実績																																																														
<p>○内方線付き点状ブロック整備事業（JR東飯能駅） 視覚障害者が鉄道駅のホームから転落することを防止する目的で、JR東飯能駅ホームに内方線付き点状ブロックを整備した。JR東日本八王子支社において実施し、補助金を支出した。</p>																																																														
<p>○「バスまちスポット」・「まち愛スポット」の継続運用 埼玉県で進める「歩歩きやすい街づくり事業」の取組の1つである当事業に市内18施設が協力している。バス停の近くにある商業施設、公共施設等が、バスを気軽に待てる施設（バスまちスポット）、バス停まで歩くときに休憩できる施設（まち愛スポット）として登録されている。</p>																																																														
  <table border="1" data-bbox="989 1176 1260 1489"> <thead> <tr> <th>№</th> <th>バスまちスポット</th> <th>設置のバス停</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>飯能工会議所</td><td>本町</td></tr> <tr><td>2</td><td>飯能中央地区行政センター</td><td>飯能河原</td></tr> <tr><td>3</td><td>ファミリーマート東飯能駅西口店</td><td>東飯能駅</td></tr> <tr><td>4</td><td>市民活動センター</td><td>飯能駅前</td></tr> <tr><td>5</td><td>セブンイレブン飯能永田店</td><td>永田大杉</td></tr> <tr><td>6</td><td>第二地区行政センター</td><td>小川戸公民館</td></tr> <tr><td>7</td><td>セブンイレブン飯能新市場店</td><td>飯上</td></tr> <tr><td>8</td><td>飯能地区行政センター</td><td>石原橋</td></tr> <tr><td>9</td><td>飯能市役所公民館</td><td>小坂</td></tr> <tr><td>10</td><td>農林産物加工産廃所やませみ</td><td>さむらひの湯</td></tr> <tr><td>11</td><td>飯能市役所</td><td>市役所前</td></tr> <tr><td>12</td><td>飯能市総合福祉センター</td><td>福祉センター</td></tr> <tr><td>13</td><td>双郷地区行政センター</td><td>双郷地区行政センター</td></tr> <tr><td>14</td><td>飯能市立図書館</td><td>天職山入口</td></tr> <tr><td>15</td><td>医療法人協和会 飯能徳和病院</td><td>飯能徳和病院</td></tr> <tr><td>16</td><td>箕形台公園事務所</td><td>箕形台公園</td></tr> <tr><td>17</td><td>ローソン飯能業彩台六丁目店</td><td>業彩台コーナ/業彩台小学校</td></tr> <tr><td>18</td><td>常盤地区行政センター</td><td>常盤小学校</td></tr> </tbody> </table> <p>△市内バスまちスポット・まち愛スポット一覧</p>						№	バスまちスポット	設置のバス停	1	飯能工会議所	本町	2	飯能中央地区行政センター	飯能河原	3	ファミリーマート東飯能駅西口店	東飯能駅	4	市民活動センター	飯能駅前	5	セブンイレブン飯能永田店	永田大杉	6	第二地区行政センター	小川戸公民館	7	セブンイレブン飯能新市場店	飯上	8	飯能地区行政センター	石原橋	9	飯能市役所公民館	小坂	10	農林産物加工産廃所やませみ	さむらひの湯	11	飯能市役所	市役所前	12	飯能市総合福祉センター	福祉センター	13	双郷地区行政センター	双郷地区行政センター	14	飯能市立図書館	天職山入口	15	医療法人協和会 飯能徳和病院	飯能徳和病院	16	箕形台公園事務所	箕形台公園	17	ローソン飯能業彩台六丁目店	業彩台コーナ/業彩台小学校	18	常盤地区行政センター	常盤小学校
№	バスまちスポット	設置のバス停																																																												
1	飯能工会議所	本町																																																												
2	飯能中央地区行政センター	飯能河原																																																												
3	ファミリーマート東飯能駅西口店	東飯能駅																																																												
4	市民活動センター	飯能駅前																																																												
5	セブンイレブン飯能永田店	永田大杉																																																												
6	第二地区行政センター	小川戸公民館																																																												
7	セブンイレブン飯能新市場店	飯上																																																												
8	飯能地区行政センター	石原橋																																																												
9	飯能市役所公民館	小坂																																																												
10	農林産物加工産廃所やませみ	さむらひの湯																																																												
11	飯能市役所	市役所前																																																												
12	飯能市総合福祉センター	福祉センター																																																												
13	双郷地区行政センター	双郷地区行政センター																																																												
14	飯能市立図書館	天職山入口																																																												
15	医療法人協和会 飯能徳和病院	飯能徳和病院																																																												
16	箕形台公園事務所	箕形台公園																																																												
17	ローソン飯能業彩台六丁目店	業彩台コーナ/業彩台小学校																																																												
18	常盤地区行政センター	常盤小学校																																																												
今後の課題					実績																																																									
○鉄道駅ホームの内方線付き点状ブロックをはじめ、公共交通施設のバリアフリー化の必要性が高まっている。引き続き、交通事業者による要請に応じて取組への支援を実施していく。					実施																																																									
○バスロケーションシステム等路線バスを利用しやすくするための設備の導入等、市民だけでなく観光客等の来訪者にも利用しやすい公共交通について研究する。					今後の方向性																																																									
					継続実施																																																									

基本目標3 生活を支える公共交通手段を「つくる」

施策	1	「おでかけ」を守るための検討				
事業	①	飯能市地域公共交通対策協議会の運営				
実施主体	実施期間（H30～R04）					
市	H30	R01	R02	R03	R04	
	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
<p>以下のとおり、飯能市地域公共交通対策協議会を開催した。（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月24日（第6回） 議事：平成29年度実績報告及び平成30年度事業計画、メツァ開業に伴う路線バスの運行方法等について 平成30年11月メツァ開業に伴うシャトルバス（3社共同運行）の運行開始に向け、当該系統の経路、運賃等について協議し、本協議会において了承された。 10月29日（第7回） 議事：吾野地区及び東吾野地区での自家用有償運送について、路線バスの利用促進事業について 公共交通空白地域である吾野、東吾野地区におけるNPO法人奥武蔵グリーンリゾートによる自家用有償運送事業「奥武蔵らくらく交通」に関する審議を行い、本協議会において了承された。 1月11日（第8回） 議事：国際興業バス飯07、飯11系統の経路変更等について、公共交通の利用促進事業について 飯能大河原線が開通したことに伴い、国際興業バス飯07系統（西武飯能日高行き）及び飯11系統（間野黒指行き）について経路変更を実施するにあたり、その経路、運賃等について審議し、本協議会において了承された。 						
今後の課題					実績	
今後も引き続き、必要に応じて開催し、重要事項について審議する。					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	1	「おでかけ」を守るための検討															
事業	②	地域での交通手段を導入するための仕組みづくり															
実施主体	実施期間（H30～R04）																
市、地域	H30	R01	R02	R03	R04												
	◎実施	○継続実施															
H30実施実績																	
<p>○交通手段の導入手引きの策定 路線バス等の公共交通が運行されていない地域、又は路線バス等の運行はされているが、運行本数が極端に少ない地域などにおいて、地域が必要とする生活交通を地域が主体となって導入し、運行することを支援するために「地域主体による交通手段の導入・確保の手引き」の策定した。</p> <p>○「公共交通空白地有償運送支援補助金」の創設 公共交通の不十分な地域の住民の移動手段を確保するため、公共交通空白地有償運送を実施するNPO法人等を支援するため制定した。</p>																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象事業</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初年度事業</td> <td>通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備その他市長が適当と認める経費</td> <td>10/10 上限50万円</td> </tr> <tr> <td>設備整備事業</td> <td>通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備又は追加その他市長が適当と認める経費</td> <td>1/2 上限50万円</td> </tr> <tr> <td>運行事業</td> <td>公共交通空白地有償運送の実施に必要な経費（車両及びその付属品の購入に要するものを除く。）</td> <td>10/10 上限50万円</td> </tr> </tbody> </table>	補助対象事業	補助対象経費	補助金の額	初年度事業	通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備その他市長が適当と認める経費	10/10 上限50万円	設備整備事業	通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備又は追加その他市長が適当と認める経費	1/2 上限50万円	運行事業	公共交通空白地有償運送の実施に必要な経費（車両及びその付属品の購入に要するものを除く。）	10/10 上限50万円			
補助対象事業	補助対象経費	補助金の額															
初年度事業	通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備その他市長が適当と認める経費	10/10 上限50万円															
設備整備事業	通信関連機器設備及び安全な公共交通空白地有償運送の実施に必要な機器の整備又は追加その他市長が適当と認める経費	1/2 上限50万円															
運行事業	公共交通空白地有償運送の実施に必要な経費（車両及びその付属品の購入に要するものを除く。）	10/10 上限50万円															
今後の課題					実績												
<p>○手引きについて、各地域において新しい交通手段を検討するに際して、策定した手引きを活用することにより、各地域の実施団体が円滑に交通手段を導入、運行できるよう支援を行っていく。また、よりわかりやすくなるよう必要に応じて当該手引きの内容を見直し、改訂を行っていく。</p> <p>○補助金について、既に公共交通空白地有償運送を実施しているNPO法人奥武蔵グリーンリゾートに対して補助金を支出し、当該団体による「奥武蔵らくらく交通」の円滑な事業運営を支援する。</p> <p>○自家用有償運送等を実施する団体のドライバーを対象に「運転者講習」を開催し、安全な運行ができるよう支援を行う。</p>					実施												
					今後の方向性												
					継続実施												

施策	1	「おでかけ」を守るための検討				
事業	③	地域による主体的な運営組織づくり				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
地域、市	◎実施	○継続実施				
H30実施実績						
<p>以下のとおり、各地区の端末交通手段の担い手である団体の運営組織づくりを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吾野地区「たすけあいあがの」の移動交通部会への出席し、当該団体が運行する無償の移動サービス「らくだ号」の運行支援（情報提供）を行った。（4回：4月23日、8月27日、12月17日、2月25日） ・東吾野地区における「みんなで知ろう！移動手段の最新動向」（ふくしの森・東吾野、自治会連合会東吾野支部共催）に出席し、当地区における公共交通の現状等を説明し、地域団体の移動交通に対する共通理解を促した。（2月16日） 						
今後の課題					実績	
依然として市内には公共交通が不十分である地域が存在し、端末交通手段の導入が課題となっている。各地区において、交通手段の確保を実現するため、担い手となる地域住民、団体等と検討する場を設ける必要がある。					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	2	社会資源の活用を検討				
事業	①	スクールバスの混乗				
実施主体	実施期間 (H30~R04)					
	H30	R01	R02	R03	R04	
市、交通事業者	◎実施（実証実験）	○継続実施（本格実施）				
H30実施実績						
<p>吾野小学校スクールバス混乗制度の実証実験を以下のとおり実施した。</p> <p>○対象期間：平成30年5月16日～平成31年3月26日まで</p> <p>○登録者数：108人</p> <p>【結果検証】（12月21日までの集計に基づく）</p> <p>○コース別利用状況 実証実験期間（主に平日【登校：128日、下校：105日】）の利用者は、延べ96人であった。1週間で約4.2人/週 が利用したことになる。</p> <p>コース別にみると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校（北川コース） 41人（43%） ・下校（北川コース） 25人（26%） ・下校（南川コース） 24人（25%） ・登校（南川コース） 6人（6%） となっている。 <p>○乗降バス停</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川コースの登校では、岩井沢下の乗車31人から飯能車庫の降車18人、吾野駅の降車12人が多くになっている。下校を見ると吾野小学校の乗車22人から岩井沢下の降車22人が多くになっている。 ・南川コースの登校では、吾野小学校の乗車4人から飯能車庫の降車4人が多く、下校では、飯能車庫の降車22人から吾野小学校の乗車22人が多く、吾野小学校で乗り換えが行われている。 						
						
						
今後の課題					実績	
<p>○登録者数は108人と多かったが、利用者はごく少数の方が繰り返し利用しているというのが実情であった。</p> <p>○運行自体は、国際興業株式会社の協力により円滑に行うことができ、大きな混乱は生じなかった。</p> <p>○10月1日に台風24号の影響による落石が原因の停留所変更が一度あり、市HPでの周知等に対応した。</p> <p>○吾野小学校とのふり返りでは以下のとおり意見が挙がった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に対して特に苦情もなく問題はないと考える。 ・学校としては、地域住民と一緒にバスに乗る機会ができることは大変良いと考えている。 ・地域住民に会う機会も少なかったため、児童にとっても良い機会だと思う。 <p>⇒少人数でも地域住民の移動手段として活用されていることを鑑み、引き続きスクールバスの混乗を続けられるよう関係機関と調整し、進めていく。</p>					実施	
					今後の方向性	
					継続実施	

施策	2	社会資源の活用検討				
事業	②	送迎バスの活用検討				
実施主体		実施期間 (H30~R04)				
市、地域		H30	R01	R02	R03	R04
		○研究・検討	○継続検討 (実証実験)			
H30実施実績						
<p>総合福祉センターが運行している施設利用者用の送迎バスの実態調査を実施した。以下、結果概要を示す。</p> <p>○現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉センター（お茶、カラオケ、ヘルストロン）と他の目的（買い物、通院）を組み合わせた移動をしている。 1便当たりの利用者数は平均3人程度（リピーター率が高い＝同じ方が利用している傾向） 南高麗、東吾野、原市場、名栗地区においては、1便当たりの利用者がゼロに近い。 一方で、双柳、精明、加治、中藤・中沢、吾野地区においては、1便当たりの利用者が多い。 ダイヤによっては利用者のニーズに合っていない可能性がある。10時より前に到着することが望ましい。 福祉センター自体の利用は、周辺からの徒歩や自動車での来訪が多い。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> バスの運行効率を高める必要がある。 福祉センター以外の利用に対する考え方を整理する必要がある。 地区の生活の足として、お出かけ支援として、有効活用を検討する必要がある。 						
今後の課題					実績	
<p>○総合福祉センターの送迎車両については、既存のバス路線等と経路が重なっている部分が多く存在し、利用者も少ない。今後、当該車両を活用し、市内の公共交通が不十分である地域の交通手段として活用することを視野に入れ、関係機関との調整、検討を進めていく。</p> <p>○原市場・南高麗福祉センターの送迎バスについてもその運行実態について検証、見直しを行い、地域の実情に合った交通手段となるよう検討の上、新しい端末交通手段の実証実験を実施する。</p> <p>○市内の社会福祉法人等が所有する送迎車両を活用した地域の移送サービスについての可能性を検討する。</p>					研究・検討	
					今後の方向性	
					継続検討	